

通信

NO. 164
2026年9月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-982-5177

今月のスケッチ

チャーチル会博多展
お出かけいただきありがとうございました。



狼岩・長崎県壱岐市

チャーチル会展に出展した作品
「狼岩」(F4・油彩)です。

スタ
コラ

AIかどうか知 らんけど

森本 信明

「AIで作った音楽に感動して当然」と、私は思っている。

私はAI推進派だけど、そんなこととは関係なく、世の中には感動できる音楽がある。

それがAIによって作られたかどうかなんて判断できないし、判断したいとも思わない。

前回のコラムにあった「作家性」とか「人生観」とか、それって何？

「あんのこと」



映画大好き
の山ちゃんが、
毎回、自分の
言葉で執筆し
ます。

監督：入江 悠

出演：河合優実/佐藤二郎/稲垣吾郎

2020年の日本で現実起きた事件をモチーフに、自ら脚本を手掛けて高い評価を得た注目作。

河合優実が底辺から抜け出そうともがく主人公・杏を演じ、数々の映画賞を受賞した作品でもある。

21歳の杏は幼少より母に虐待され、12歳から売春を強いられ、過酷な人生を送っていた。

ある日、覚醒剤使用容疑で取り調べを受け、多々羅という変わった刑事に出会う。

見返りも求めず就職を支援してくれる多々羅や、彼の友人でジャーナリストの桐野に支えられ、更生するべく奮闘する杏だったが、ラストに向けコロナ禍で状況が一変していく……

という感じだ。ちなみに私は音楽が大好きだ。

前回のコラムを読んで調べているうちに、「失音楽症」というものを知った。歌が歌えない、音程やリズムが分からないなどの症状があり、研究によっては人類の4%ほどに見られるという。

最初は、人が不得意なことを病気と決めてしまうことに危うさを感じた。「名画の価値が分からない失美術症や、マウスをクリックできない失デバイス症なんてあるのか」と(笑)。

ところが友人から、「順番が逆だ」と指摘された。音程を外すから失音楽症なのではなく、脳の機能に障害があり、その症状の一つとして音程を外すことがあるのだ、と。なるほど、納得した。

一方で、「個性」と「病気」の境界は案外連続している。多数の人と違う状態でも、日常生活に

支障がなければ、病気として意識することもない。本人が困ってなければ、気づかない方が幸福なことさえある。

だとすれば、細かなことを気にしない「鈍感さ」は、健康への一つの道なのかもしれない。

その音楽がAIで作られたかどうかなんて、知らない方が健康的なミュージック・ライブを送れるのではないかな。

なんか無理矢理ですが(笑)、要するに、音楽はもっとシンプルに楽しんだ方がイイ。

もっとも、病気については、知らないままでいいとは限りませんが(このコラムのタイトルはAIが付けたものです^^;))

※森本さんごめん。紙面の関係で、AIによって字数を2分の1程度に編集しています。全文は、ホームページに掲載

Relationship & Partnership
ビジネス総研

<https://www.b-souken.com>